


平成29年度 教育委員会 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
教育次長 近成昌行	<p>●使命 私たち教育委員会は、市長と教育委員会で構成する総合教育会議において、平成27年11月に策定された「瀬戸内市教育大綱」の五つの重点施策を柱とし、瀬戸内市の教育の一層の充実に向け、諸施策を実施します。</p> <p>●基本方針 重点1 「確かな学力、豊かな心、健やかな体の子どもの育成」 重点2 「子育て・保育・教育を通して子どもの成長を社会総がかりで支援」 重点3 「生涯にわたり学びあう市民への効果的支援」 重点4 「健康で活力に満ちた地域社会の形成」 重点5 「歴史・文化の保存・継承と活用の推進」 以上、五つの重点施策の推進に当たっては、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係機関と連携を図りながら、市民の期待に応えるよう教育行政を推進していきます。</p>	所管課	総務学務課・社会教育課・公民館 図書館・学校給食調理場		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			72人	163人	235人
		一般会計	1,601,894 千円		
		特別会計	千円		
		計	1,601,894 千円		
	(うち人件費)	(540,490 千円)			

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
1	<p>魅力ある学校施設と学習環境の改善を図ります。</p> <p>① 学校施設整備 老朽化が進み、大規模改造や老朽改修が必要となっている学校が多くなっているため、緊急性に応じて計画的に実施します。さらに、学校施設長寿命化計画に基づき、バリアフリー化や省エネルギー化等も含めた施設整備を推進します。</p>	<p>① 呂久中学校北棟大規模改造工事や各小学校の改修工事及び幼稚園のエアコン設置に向けての実施設計など、学校施設整備等を年度内に計画的に実施します</p>	<p>① 呂久中学校については7月中に仮設校舎の建設を終え、8月から北棟大規模改造工事に本格的に着手して進捗率は23%となっています。また牛窓北小学校の雨漏り改修、裳掛小学校体育館のトイレ改修を夏休み期間を中心に行い完了しました。なお行幸小学校プール配管の改修については、プール使用期間が終了したため、現在発注の準備中です。</p>	<p>① 呂久中学校北棟大規模改造工事は、現在、外壁塗装・内装改修を順次行っており、進捗率は70%となっています。行幸小学校のプール配管改修工事については1月に完了しました。また幼稚園のエアコン整備については、実施設計を10月に終えており、平成31年度の工事に向けて準備を整えているところです。</p>	<p>① 呂久中学校北棟大規模改造工事は、予定どおり3月末には主要な工事を終え、順次外部足場等の解体を行い、5月末の完了を予定しています。また、その他年度内に計画していた工事や設計についても概ね完了しています。なお、特別支援学級の増設に伴う改修工事については、春休み期間で実施し、4月の始業式までに完了予定としています。(4月6日完成)</p>

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
2 幼少期の教育の重要性に鑑み、関係部局・関係機関と連携しながら、支援が必要な子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じ、多様できめ細やかな支援を行います。	<p>① 保幼小中の連携の強化 県が作成した、保幼小接続スタンダードをもとに保幼小の接続のためのカリキュラム作成を行います。 また、小中の連携を密に行います。</p> <p>② 支援の充実 様々な支援の必要な子どもたちのニーズに対応するため、特別支援の視点にたった授業改善を行います。</p>	<p>① ・全ての小学校で、スタートカリキュラムの作成を行う。 ・「小1プロブレム」による問題行動、不登校を0にします。 ・不登校の出現率を小学校で0.3、中学校で2.6以下にします。</p> <p>② ・学校に行くのが楽しいと思う児童生徒を9割、好きな授業のある児童生徒を9割以上にします。 ・特別支援を視点においた、授業改善について呂久中学校区を中心に年間20回以上の指導、助言を行い支援の充実に努めます。</p>	<p>① ・幼稚園保育園のすりあわせは定期的に行われています。10月に小学校と幼稚園での研修を行い、具体的なカリキュラム作成をしていく予定としています。 ・本年度も「小1プロブレム」による問題行動、不登校の報告は受けていません。 ・9月現在の不登校の出現率は、小学校0.05、中学校で1.9となっています。</p> <p>② ・学校に行くのが楽しいと思う児童生徒と、好きな授業のある児童生徒は共に85%程度でした。 ・呂久小のコーディネーターによる指導訪問は、20回を超えています。指導主事訪問による指導・助言は7回程度実施しています。</p>	<p>①10月に行われた、研修会では、幼稚園と小学校の現状を話し合い、4月までの準備について見通しを持つことができました。 ・12月末現在の不登校の出現率は、小学校0.17、中学校2.1となっています。</p> <p>②コーディネーターによる指導訪問は35回を超え、指導訪問による指導も13回実施ができました。2学期までに各校の指導・助言を行ってきており、特別支援の視点に立った授業改善や工夫が見られ始めています。3学期は、子どもたちの進路を考えたケース会や校内研の充実を意識した指導・助言を行っています。</p>	<p>・3月末現在の不登校の出現率は、小学校0.61、中学校2.52となっており、昨年度より、小中学校でやや増となりました。長期欠席についても、全体でやや増となっており、重点課題として来年度も取り組みたいと考えています。 ・「小1プロブレム」による問題行動、不登校の報告は受けておりません。</p> <p>②・学校に行くのが楽しいと思う児童生徒、好きな授業のある児童生徒共にを9割以上に達することができませんでした。 ・コーディネータの指導・助言は、40回を超えており、進路や就職など出口を意識した支援を意識することができ、目標を達成することができました。</p>

	<p>③ 学校力向上のための事業の充実 瀬戸内市次世代型教育事業や教員 キャリアステージ別研修により教育活動の充実、子どもたちの学力向上を行います。</p>	<p>③ ・次世代型教育事業での指導助言を年間6回以上、キャリアステージ研修を年間7回以上行い学校力の向上に努めます。 ・自分で計画を立てて勉強している児童生徒を7割、グループの中で自分たちで課題をたてて話し合いながら学習を進めたという児童生徒を8割以上にします。</p>	<p>③ ・次世代育成での指導助言はこれまで、8回程度キャリアステージ研修は、6回程度行うことができます。 ・自分で計画を立てて勉強している児童生徒は65%程度でした。グループの中で話し合いをしながら学習を進めた児童生徒は、80%を超え目標に達することができました。 10月下旬の学力向上プロジェクト研修会において、共通認識を深める計画としています。</p>	<p>③ ・次世代育成での指導助言は、60回、キャリアステージ研修は11回行うことができます。 ・10月下旬に行われた学力向上プロジェクト研修会では、授業と家庭学習をリンクさせる工夫や自らが目的を持った家庭学習への取り組みについての研修を行うことができました。</p>	<p>③・次世代育成事業と、キャリアステージ研修について、計画的な研修を行うことができました。学校全体で道徳の授業づくりに取り組んだり、外部講師を招いて外国語の指導法を学んだりする等、意欲的に取り組む姿勢が見られました。 ・自分で計画を立てて勉強している児童生徒は目標に達することはできなかったが、研修を通じて教員が意識することができはじめたと考えています。来年度の実践につなげたいと考えています。</p>
--	--	--	---	--	---

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
3	<p>生涯学習機会の更なる充実を図るため、市民の学習ニーズを把握しながら、社会教育施設が連携して事業を推進します。</p> <p>① 図書館サービスの展開 「新瀬戸内市立図書館整備実施計画」に盛り込まれたサービス内容から、向こう5ヶ年の「サービス計画」を策定し、その推進を図ります。</p> <p>② 「第2次瀬戸内市子ども読書活動推進計画」を策定します。</p> <p>③ 「認知症にやさしい図書館」を目指します。認知症を誰もがなり得る病気として地域で考え、支えるために、市民が認知症についての理解を深め、当事者を支える図書館を目指します。</p> <p>④ 公民館 「竹久夢二」と、男女世代を問わず誰もが楽しむことができる「音楽」とを結び付け、夢二コンクールや音楽コンサート等を実施します。併せて、関連する文化芸術の魅力を向上させるような取組みや、文化を活かしたまちづくりのために文化祭の一層の充実を目指します。</p>	<p>① 開館2年目のサービス目標として全館の登録率45%、実利用率を18%、貸出冊数を約342,000冊(住民1人当たり貸出冊数を9冊)、新図書館の来館者数を200,000人とします。</p> <p>② 9月末までに素案をまとめ、瀬戸内市子ども読書活動推進委員会に諮り、年度末までに成案を図ります。</p> <p>③ 「認知症にやさしい図書館サービス要綱」をまとめ、特設コーナー「認知症にやさしい本棚」を設置します。また、スタッフ全員が「認知症サポーター」養成講座を受講します。</p> <p>④ 公民館 実行委員会を設立し、夢二コンクールや音楽コンサートの運営を行います。年間各所の関連する文化芸術の魅力を向上させるような取組み事業を実施し、参加人数4,300人を目指します。</p>	<p>①貸出冊数は、154,606冊、来館者数は、81,920人でした。</p> <p>②10月末開催予定の図書館協議会で協議するための素案が完成しました。</p> <p>③「認知症にやさしい図書館プロジェクト」の行動計画が出来ました。また、「認知症にやさしい本棚」を設置し、スタッフ全員が、認知症サポーター養成講座を受講しました。</p> <p>④5月の祝祭コンサートを含め4回市内各所で実施し、各会場400人以上の参加者がありました。また、各学校にも出前講座で本物の音楽を届けました。実行委員会も随時行い円滑な運営に努めています。</p>	<p>①貸出冊数は、254,522冊、来館者数は、131,708人でした。</p> <p>②1月末開催の図書館協議会で素案の審議を完了しました。</p> <p>③「認知症にやさしい図書館プロジェクト」の行動計画に基づく「認知症サポーター養成講座」を図書館で開催し、65名の参加者がありました。</p> <p>④ プレミアムコンサートやスクールコンサート、ほっこりコンサートなど今年度の夢二コンクール関連事業を無事終了しました。プロジェクト全体で約6,000人の参加がありました。実行委員会等では、今年度の反省や次年度の計画の協議を進めています。</p>	<p>①貸出冊数は、307,693冊、来館者数は、158,847人、利用登録率は、45.2%でした。また「図書館サービス計画2018」を策定しました。</p> <p>②「第2次瀬戸内市子ども読書活動推進計画」を策定しました。</p> <p>③地域包括支援センターからの依頼で、「認知症サポーター養成講座」のいる施設のステッカーをカウンターに設置しました。</p> <p>④ 夢二ふるさと芸術交流プロジェクト実行委員会が3月14日に開催され、事業報告及び決算報告が承認されました。参加目標人数の4,375人を大きく上回る6,065人の実績となりました。文化祭についても3館で円滑な運営ができました。</p>

	<p>⑤ 図書館・公民館連携事業 公民館事業にちなんだ図書選定と特設コーナーを設置します。また、地域郷土資料展示を公民館と図書館で一体的に展開します。芝生の広場を活用した音楽コンサートなど市民との協働事業を実施します。</p>	<p>⑤ 図書館新着案内を公民館グループに配布します。また、地域郷土資料展示を年4回、中央公民館と連携して実施します。 音楽コンサートを親子で楽しむ七夕、クリスマスの時期に実施します。</p>	<p>⑤喜之助フェスの事前PRということで公民館ロビーや図書館展示室で人形の展示を一体的に行い市民に周知しました。七夕には星座教室と野外音楽コンサートを実施しました。</p>	<p>⑤各種連携事業を随時行っており、中央公民館で地域の今昔写真展を行い、図書館では講演会を実施しました。また、音楽団体との協働事業も支援しています。</p>	<p>⑤年間を通じて、地域郷土関係の資料展示や芝生広場を活用した音楽コンサートの開催など時季に応じて行いました。各種行事を公民館と図書館施設において一体的に実施することができました。</p>
--	---	--	---	---	---

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	市民の健康づくりや体力づくりのためのスポーツ活動の場所と機会の提供を行います。	① 邑久B&G海洋センタープールの改修 市民に安全に、安心して施設を利用していただくために、B&G財団の「修繕助成制度」を活用し、老朽化したプール施設の改修工事を実施します。	① 設計業者決定後、実施設計を行い、プール開放終了の9月以降、工事着手し、2月末までに改修工事を完了します。	① 7月末に、実施設計書が完成しました。工事については11月初旬に入札の予定です。	① 更衣室、上屋鉄骨、上屋シートについては完了していません。今後は缶体塗装、プールサイド、機械設備工事を行い、2月末までに完了する予定です。	①すべての工事について完了いたしました。平成30年7月1日リニューアルオープン予定です。
5	古くから継承されてきた歴史遺産や伝統文化を保護、保存し、次の世代へ継承します。また、伝統文化や芸術にふれながら学習する機会の提供を行います。	① 弘法寺脚供養調査記録作成事業 平成28年に、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択された弘法寺脚供養を、3ヵ年の国庫補助事業として総合的な調査を実施し、今後の継承発展を目指します。 ② 博物館では刀剣への興味を持たせ体験講座を開催し理解を深めます。 ③ 美術館では美術を楽しく語り、美術をより身近なものとなるよう目指します。	① 弘法寺脚供養総合調査委員会を組織し、委員及び現地調査員による関連資料の調査、現地調査を実施します。 ② 博物館で小刀製作講座を開催します。 年23回開催 目標入館者数：44,000人 ③ 美術館内・出張形式で市内学校・団体を対象に「対話型鑑賞会」を開催します。 年10回開催 目標入館者数：19,430人	① 4月に第1回調査委員会を開催し役員、事業計画を決定しました。5月には脚供養の現地調査を実施しました。9月に第2回調査委員会を開催し報告書の目次案を協議しました。 ② 小刀製作講座を9月末までに11回開催しました。 9月末入館者数 19,437人 ③ 館内での対話型鑑賞会を、来館者・学校生徒・新人職員などを対象に6回実施し、館外では図書館にて出張美術館という形で1回実施しました。 9月末入館者数 14,391人	① 弘法寺脚供養総合調査報告書案の担当項目について調査員による現地、在宅、文献調査を実施しました。事務局で過去の行事の写真収集を行いました。 ② 小刀製作講座を1月末までに18回開催しました。 1月末入館者数 29,608人 ③ 対話型鑑賞プログラムは、即興演奏コンサートと併用するなどして9回、図書館での出張美術館は2回実施しました。また牛窓中学校と連携して全学年の120名が参加して実施しました。 1月末入館者数 19,264人	① 2月に第3回の調査委員会を開催し、建造物、迎仏の現地調査、在宅調査、文献調査内容の報告と次年度の調査計画を協議しました。 ② 小刀製作講座を3月末までに20回開催しました。 3月末入館者数は、34,716人でした。 ③ 対話型鑑賞プログラムは、来館者、瀬戸内市民を広く対象に20回実施し、近隣の学校との連携づくりも進みました。 3月末入館者数は、22,970人でした。